

2017年4月18日

報道関係各位

株式会社メガネスーパー
JASDAQ・コード 3318

ウェアラブル領域における成長戦略を加速させるため 新会社「Enhanlabo(エンハンラボ)」を5月1日に設立

～視覚、そして五感を拡張し、新たな事業領域の創出を目指す～

株式会社メガネスーパー（本社：神奈川県小田原市、代表取締役社長：星崎尚彦、以下「メガネスーパー」）は、ウェアラブル事業の加速化を目的とし、2017年5月1日付けで新会社「Enhanlabo（エンハンラボ）」を設立いたします。

●新会社設立の目的

メガネスーパーは「視覚拡張」をキーコンセプトに、技術革新を通じて新たな市場の開拓を目指し、「見え方」「かけ心地」にこだわったメガネ型ウェアラブル端末「b. g.（ビージー）」の商品企画を進めてきました。2017年1月に東京ビッグサイトで開催された「第3回ウェアラブルEXPO」での展示において「b. g.」の最新プロトタイプを発表し、大きな反響を得ております。

これまでの活動を通じて「日本の重要な産業の一つであるメガネ製造のノウハウの活用余地がウェアラブル事業展開においては十二分にあること」「メガネ業界と他業態との提携加速は大きなビジネスチャンスであること」を多くの方に訴えてまいりました。その結果BtoB各事業領域において、多くの企業や団体にご賛同を頂き、最新技術やIoTなどの組み合わせによるソリューション化を目指した提携候補先・実証実験実施候補先・納入候補先の開拓が多数進行しております。いずれの領域においても、ハンズフリーの実現による生産性向上への強い期待があり、特に「b. g.」の特長である高解像度ディスプレイの実現がもたらすイノベーションの可能性は大いにあると考えております。

こうした状況を踏まえ、人材強化や、資本調達・事業提携の自由度を上げ事業化を更に加速させることを目的に、本年5月1日付けでの新会社設立の決定に至りました。

●社名に込めた思い

今回設立する新会社には（質・能力などを）高めるという意味を持つ「enhance」と「laboratory」を組み合わせ、「Enhanlabo」と命名しました。メガネ型ウェアラブル端末「b. g.」開発のキーコンセプトに据えた「視覚拡張」は、最新のテクノロジーによって「視覚」の新たな可能性を引き出し、主な活用領域として見込んでいるBtoB領域において「生産性向上」につなげることを目的としています。私達の活動の中で常に中心に据えているのは「人」であり、「視覚」ひいては「五感」の拡張を通じて人の可能性を高めていくことで社会に貢献していきたいという思いが社名に込められています。

アイケアカンパニー宣言!



●株式会社 Enhanlabo 概要

社 名：株式会社 Enhanlabo (エンハンラボ)

設 立：2017年5月1日

所 在 地：東京都港区芝浦 4-17-3 芝浦 NA ビル 3F

代 表 者：代表取締役社長 座安 剛史 (現メガネスーパー事業推進室ジェネラルマネージャー代行)

取 締 役：取締役 星崎 尚彦 (現メガネスーパー代表取締役社長)

取締役 三井 規彰 (現メガネスーパー取締役 CFO)

資 本 金：10,000 千円

出資比率：株式会社メガネスーパー 100%

社 員 数：10 名 (予定)